

# こんなこと 決めました

2015年  
6月定例会

6月4日～  
6月19日

## 請願1件を採択

三文字地区防災対策に関する請願

請願紹介議員

中山 美 幸 議員

提出者 大崎町假宿1050番地3

松 元 俊 朗 氏他4名

署名者 前述の方々を含む451名

4月30日の大雨による床下床上浸水等の被害に対して、町長及び担当部局に文書により進言し進捗状況を把握監視するよう請願されたものです。

議会は、請願の趣旨を妥当と認め採択しました。なお、本請願は、町長に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求いたしました。

- 1 三文字地区以北（丸尾、假宿）等の雨水流量制御のため調整池の整備を進める。
- 2 既存の側溝等の沈澱土砂の撤去及び流量増加などの改良を進める。
- 3 火災等の発生をかんがみ假宿1981番地付近への消火栓、もしくは防火水槽を設置するとともに避難路確保のため同地区に防犯灯の設置を進める。

## 陳情1件を採択

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

陳情者 大崎町持留389番地1 上野 重 夫 氏

## 趣 旨

日本は、OECD諸国に比べ1学級あたりの児童生徒数が多くなっているが、国による改善計画のない状況が続いている。一人ひとりの子どもたちへのきめ細やかな対応や、学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善が不可欠である。また、義務教育費国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより自治体財政が圧迫され、非正規職員も増えている。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが重要である。

また、離島・山間部が多い鹿児島県では、複式学級が多く、単式学級で学ぶ子どもと比較したとき、教育の機会均等が保障されているとは言えず、複式学級の解消は重要な課題である。

以上のような趣旨から2016年度の政府予算編成において、実現されるように陳情されたものです。

## 意見書を可決

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書

次の要領事項を記載した意見書を、関係各大臣に送付いたしました。

- 1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
- 3 離島・山間部の多い鹿児島県において、教育の機会均等を保障するため、国の学級編成基準を改めて複式学級の解消に向けて適切な措置を講ずること。